

奈良の誇れる 文化財 今に、未来に 伝えたい



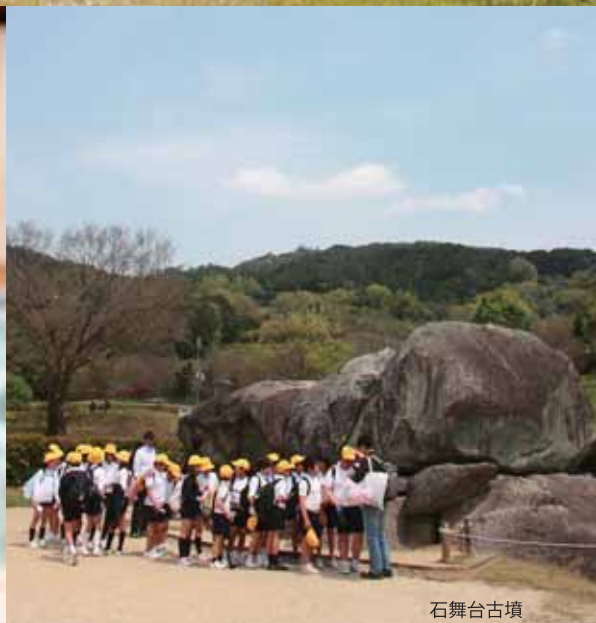
平城宮跡朱雀門



県立橿原考古学研究所での保存作業



県文化財保存事務所職員



石舞台古墳

奈良県の主な文化財の数

分類	件数	全国順位
世界遺産	3	1位
国宝 彫刻	70	1位
国宝 建造物	64	1位
国宝 考古資料	8	2位※
国宝 工芸	35	2位※
特別史跡	10	1位

平成25年10月1日現在 文化庁調べ
 (※ 1位は東京都)

奈良県には、世界遺産が3つ、国宝の建造物が64か所、国宝の彫刻が70体あるなど、誇れる文化財がたくさんあります。県では、こうした豊かな文化財を観光資源等として活用するとともに、次の世代にきちんと引き継ぐための保存の取り組みを、さまざまな形で行っています。今回は、それらの取り組みの主なものを紹介します。

活用

今に伝える

県では、奈良の価値は日本という国が形づくられて、その文化が育まれた「歴史」そのものにあると考えています。今、この時代に生きている皆さんに、そうした歴史に触れていただくため、県ではさまざまな文化財活用の取り組みを行っています。

平城宮跡の活用

平城京歴史館

日本の国づくりの歴史、当時の平城京のようすを、映像や展示でわかりやすく紹介しています。

中にあるシアターでは、奈良県出身のアニメーション監督、森田修平さんによる「平城京安らけし都」も上映中です。



入館料(個人) 一般 500円
 高校・大学生 250円
 小・中学生 200円

開館時間 9時～16時30分
 (入館16時まで)

休館日 月曜日(祝日の場合翌平日)・年末

〒平城京歴史館 ☎0742-35-8201

なら平城京 歴史ふらり



アプリは Apple Store Google Playで 無料ダウンロードできます。

〒平城京歴史館 推進室 ☎0742-27-8945

1300年前の平城宮の再現CGマップを使い、GPSで現在地を確認しながら歩くことができるほか、動画や音声ガイドで当時の様子を楽しむことができます。スマートフォンアプリです。

アプリなら平城京歴史ふらり



平城京天平祭

春は華やかな「天平行列」が平城宮跡内を練り歩き、夏は夜の平城宮跡に幻想的な光と灯りの空間を演出、そして、秋は色とりどりの花々の展示や古代行事の再現を行い、季節ごとに特色のある催しで皆さまにお楽しみいただいています。

平城京天平祭・秋2013
 11月2日(土)～10日(日)
 10時～16時
 〒平城京天平祭実行委員会
 ☎0742-2510707
 URL www.tenpyosai.jp/

ならがくしゅう 平城楽習パック

学習DVDや体験ツールなどをセットにした平城宮跡学習パックを小中学校等に無料で貸し出しています。修学旅行などの前に奈良の歴史を学び興味を高め現地学習に取り組みます。



木簡、高杯のレプリカ、天平衣装、学習シートなどが、トランク一つにまとめられています。当時が偲ばれる天平衣装は大変好評です。

〒平城京歴史館 ☎0742-35-8201

歴史展示や 史料編纂の取り組み

歴史展示

県では、歴史の魅力や文化の背景などを分かりやすく伝える取り組みを「歴史展示」という名称で推進しています。

史料編纂

奈良県にはたくさんの方の古文書が現存しますが、それらの多くが未公開で利用できない状態にあります。そのため県では、県内の古文書を調査、整理し、広く皆さんにご利用いただけるようにすることで、奈良の歴史の価値をわかりやすく伝える取り組みも行う予定です。

補助金

県では、以前から貴重な文化財を保存・整備・活用する事業への補助制度がありました。平成24年度から、さらに市町村が史跡の整備・活用を進める場合、補助率を上積みする新しい補助制度ができました。

これまでに唐古・鍵遺跡(田原本町唐古・鍵)や、中宮寺跡(斑鳩町法隆寺東)など、10件の事業でこの補助金制度が利用されていますが、今回は、整備工事が進む栗山古墳(広陵町三吉)で地元の方々のお話をうかがってきました。

特別史跡
栗山古墳

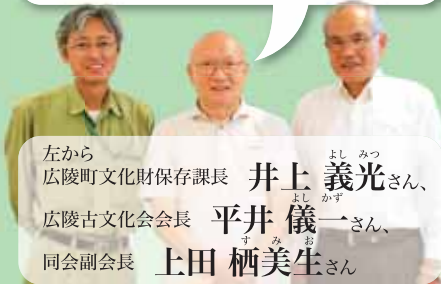
馬見丘陵公園の南側にあり、馬見古墳群の中で最大規模の古墳。水鳥形埴輪など出土品は、広陵町役場前にある広陵町文化財保存センターで見ることができます。



栗山古墳護岸工事のようす

農業用水として周濠の水を利用していため、水の増減で岸が侵食されていました。石で補強し、その上から、周濠に溜まっていた泥から作った砂を被せて、元通りの環境に近づけています。

未来に古墳を残したい!
栗山古墳では、私たち古文化会が草刈りをしたり、町のボランティアガイドが詳しく案内したりと、地元の人が、その魅力を伝えようと活動しています。
将来に昔ながらの植生と古墳の姿を残し、さらに出土品を展示する場所ができればいいと思います。(談 平井会長)



左から
広陵町文化財保存課長 井上 義光さん、
広陵古文化会会長 平井 儀一さん、
同会副会長 上田 栖美生さん

廣陵町文化財保存センター ☎0745-55-1001(代)



中央部分が中宮寺跡



唐古・鍵遺跡

世界遺産

奈良県には、「法隆寺地域の仏教建造物」(下図中の①)、「古都奈良の文化財」(同②)、「紀伊山地の霊場と参詣道」(同③)の3つの世界遺産があり、その数は全国一を誇っています。

さらに現在、橿原市・桜井市・明日香村にまたがる「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」(同④)が県内で4つ目の世界遺産として登録されるよう、県と関係市村はさまざまな活動に取り組んでいます。



3/20東京で行われた世界遺産登録をめざす東京講演会のようす



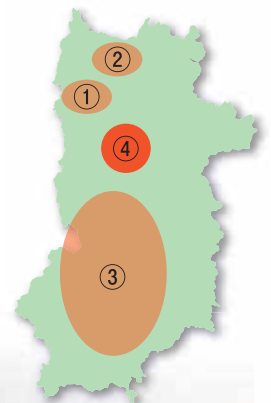
1/26万葉文化館で行われた「飛鳥・藤原」の世界遺産登録をめざす県民セミナーのようす



8/23イオンモール橿原での飛鳥・藤原の世界遺産登録をめざす関連資産のパネル展のようす



8/17橿原考古学研究所附属博物館での夏休み子ども考古学講座「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」を知ろう・学ぼうのようす



飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群とは?

飛鳥・藤原は律令制による「日本国」が生まれた地。日本と東アジアの文化を融合・発展させた宮殿、寺院、庭園、古墳などの貴重な文化財が数多く地下に残されています。



(上)石舞台古墳、
(下)伝飛鳥板蓋宮(いたぶきのみや)跡
(写真は明日香村教育委員会提供)

保存

未来に伝える

県では、先人たちのためめぬ努力により守り伝えられてきた貴重な文化財を後世にも伝えるため、さまざまな保存や研究を行っています。

県文化財保存事務所



薬師寺東塔では平成30年までの間、全ての部材を解体して組みなおす、創建以来最大規模の修復が行われています。



薬師寺東塔（国宝）上の写真は、矢印部分の修復

県文化財保存事務所では、寺院等からの委託を受けて、直接修復作業を行います。現在、薬師寺・法隆寺・當麻寺奥院・称念寺・長福寺の5つの大規模な修復現場に出張所をおき、専門の県職員が修復にあたっています。

今回はその一つ、薬師寺東塔（奈良市西ノ京町）の修復現場を紹介します。

未来に良い建物を伝えたい！

塔はほとんど釘を使わずに、材木を上手く組み合わせることで立っているんです。その分、各材木にかかる力のバランスがとても大切です。現場では全ての部材を詳細に計測して、データを取っています。このデータが県の資料として残り続けるので、将来の修復に役立つと思います。（談 松本主査）



奈良県文化財保存事務所 薬師寺出張所 主査 松本 全孝

県立橿原考古学研究所

県立橿原考古学研究所では、遺跡の研究や範囲確認のための学術調査や、公共・民間が行う各種開発に伴う事前発掘調査を行っています。今回は、発掘が進む飛鳥京跡苑池（明日香村岡）を紹介いたします。



飛鳥京跡苑池。中央に見える中島からは、大きな松の木の根が見つかりました。当時から植栽がされていたことがうかがえます。世界遺産をめざす「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産のひとつです。



橿原考古学研究所研究員 浦部 行弘 総括研究員(右)
東影 悠 主任研究員(左)

実感してほしいですね！

飛鳥の地は、千年以上前にこの国の中心だった頃の地形が今も残っています。そんな当時の景色や風を五感で感じてもらえるような整備をして、多くの方にお越しいただきたいですね。（談 ト部総括研究員）



重機で大きく掘ってから、人の手で細かく掘り進めていきます。

史跡・名勝 飛鳥京跡苑池

飛鳥時代の日本の首都、飛鳥京の庭園跡。中島が浮かぶ池を配した優雅な構造。保存整備活用事業として未来に伝えるとともに、皆さんにもご利用いただける庭園に復元します。

知事からひとこと

奈良県には世界に誇る多数の文化財があり、その一つひとつが日本の歴史そのものです。県では、歴史の価値を守り伝えるための取り組みを地域振興や文化、観光の活性化につなげ、貴重な文化財を未来へと伝えていきたいと考えています。



ミュージアムキャラクターアワード2013で全国2位を獲得しました。

奈良県立橿原考古学研究所 マスコットキャラクター